

情報を収集して討論

瀬野光孝

東京都立山崎高等学校教諭

1 授業のねらい

- ①情報を正確に読みとり取捨選択できる能力を身につけさせる。
- ②論理的で説得力ある文章で自分の主張を表現できる能力を身につけさせる。
- ③相手を意識してスピーチする能力を身につけさせる。
- ④討論・議論できる能力を身につけさせる。
- ⑤ディベートを聞きながら適切に判定する能力を身につけさせる。

2 授業展開

テーマを設定し担当者(ディベーター)を決める。

ディベートは、

- ①生徒が身近に感じ、新聞から資料を探しやすいように新しい話題を選ぶ。
- ②肯定側2人と否定側2人の担当者を割り振る。

テーマに関する情報を収集する。

新聞記事・縮刷版やインターネットなどから情報を収集する。

- ①過去の新聞記事の中から関連する記事を探す。
- ②インターネットは、記事検索で関連する記事を呼び出すことができるので便利である。

自分の立場に従って情報を取捨選択する。

収集した情報を自分の立場(肯定側・否定側)にあわせて取捨選択する。

- ①解説や社説などから自分の立場に有利な記事を選び出す。
- ②主張とそれを支える根拠(証拠)を探す。

相手の立場に立って情報を取捨選択する。

収集した情報の中から自分の立場とは逆の意見をまとめておく。

- ①相手の立論に対応するため事前に相手がどのようなことを主張するかを予測する。特に否定側はこの部分をしっかりとまとめておくことが重要。
- ②相手の主張とそれを支える根拠を明確にし、事前に対策を練っておく。

ディベートの立論用の原稿を作る。

▶ ワークシート 1

- ①新聞記事から読み取った具体的提案を5本程度の柱にまとめる。
- ②上質紙の右端に「主張」、その根拠・理由を左側にマジックで記入する。

ディベート

▶ 写真 1・2

ディベート…用意したカードを黒板に張り、説明する。

立論：各5分 質疑：各3分 反論(反ばく)：各5分 作戦タイム：5分

※反論は作戦タイム内でカードを作成、黒板に張って行う。

フローシートと判定

▶ ワークシート 2・3

判定者はフローシートを記入し両者の主張を理解する。

- ①肯定・否定側の立論とそれに対する反論をフローシートに記入する。
- ②ディベーターはフローシートを見ながら、反論カードを記入する。

フローシートを見ながら判定する。

- ①ディベーターのスピーチで判定する。
- ②判定理由を短く文章としてまとめる。
- ③判定理由は「この部分を直せばよくなる」といった建設的な意見を書く。

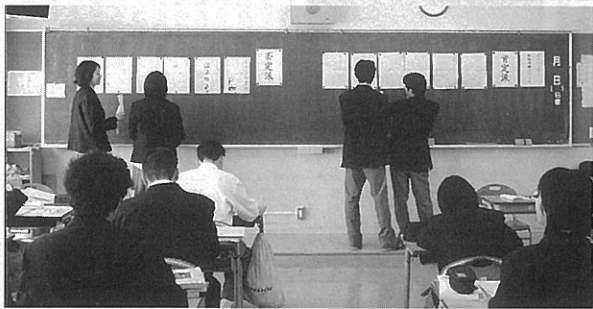
資料2 フローシートの生徒作品

ディベート・フローシート


● 動物実験について



| | | | | |
|----|---|---|----|--|
| 1年 | 組 | 番 | 氏名 | |
|----|---|---|----|--|

| 肯定派 (賛成) 派立論 | 否定派 (反対) 派反駁 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 仕方がない。 人が動物を殺して食べていることと同じくらい大切なことである。 • 副作用などがわかる。 • 日本人の意見 日本人の反対がおおければ中止にもなる。 • 生き物はみな他の生き物を「せいに」して生きている。 • 実験動物は法律に守られる。3R • 結果が直接人間社会に大きな影響を与える。→ 人と動物はちがう！ やむをえない事である。 • 医事進歩のため、しょうがない。 動物実験のおかげで「作られた薬で」どれだけの人々の命が助かっているかを考えると、仕方がないことである。→ 動物実験をやってても人に害はある。医者も反対 |  <p>写真1 肯定派(写真右)否定派(写真左)の主張と反論が出そろったところ</p> |



| 否定派 (反対) 派立論 | 肯定派 (賛成) 派反駁 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 動物実験反対 同じ命をもつ動物を人間の「せいに」してはいけない。研究者の態度。世界で2億匹の「ヒキ」——— ストレスのため、ハンマーで下半身をうちたかれた犬「や、ますいナリて」ネコの頭をきりみかくなどの50%な死んでしまう。 • 何のために動物実験をやるのか。 実験済でも人に「害があつたもの」もあり。 • 動物実験のかわりは何か。 かわりはいくつもある。 植物や人間のひぶしの細胞(?)など | <p>← あれは20年前のハシダと「せいか」はげしいので。(法律) いはんとしたら「かいじバツリカ」あるよ</p> <p>アメリカなど海外では、動物保護団体が日本よりすぐく、「せいか」はげしい</p>  <p>写真2 否定派の立論カードに対して反論カードを使って反論している</p> |

